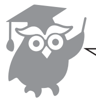

★ワンポイントアドバイス★

五百～六百字という字数指定なので，三～六段落程度で書こう。

＜適性検査Ⅱ解答例＞

1　〔問題1〕 ⑴　12.6　　m

⑵　①　（掲示用（けいじ））　配布用　　②　36　分の1　　③　6.9　cm

④　南　　⑤　西

〔問題2〕 52　と　58

〔問題3〕 ⑴　（1年前）　2年前　→　$60+1\div\frac{20}{60}\times10\ =90$

⑵　午前10時　6　分　40　秒

2　〔問題1〕 〔同じ理由で行ったこと〕

3代しょう軍足かがよしみつは，朝ていを意識してき族と同等な高い地位についたこと。

〔年表（表1）イの時代の戦乱（せんらん）が，カード（図1）②の戦乱とちがう根きょになる点〕

しょう軍の家来ではなく，ばく府と朝ていによる戦らんである点。

〔年表（表1）エの時代の戦乱が，カード（図1）②の戦乱とちがう根きょになる点〕

京都ではなく，美のの国でおきた戦らんである点。

〔問題2〕 〔建物の番号〕 ①　　〔位置の表現〕 左京七条二ぼう

〔説明〕 すざく大路の東側に位置しているから「左京」，六条大路と七条大路の間の区画に位置しているから「七条」，大宮大路と西のとう院大路の間は，すざく大路から二つ東の区画に位置しているから「二ぼう」となるから。

〔問題3〕 〔説明〕 せきが改良されたことにより，①から③の区画の魚の総数は，2009年の31ひきと比かくして，2010年の63ひきは約2倍，2011年の364ひきは約11.7倍と増えている。

このように，せきの改良工事が行われたよく年には，その上流の区間への魚の移動が見られるようになった。

3　〔問題1〕

選んだもの	節の番号
目	1
あし	2，3，4

〔問題2〕 〔入れる板〕 C　　〔飼育ケースの明るさ〕 D

理由　結果1より，板の色は茶色のさなぎになることには関係がないと考えられる。

結果2より，明るい部屋でツルツルの板を入れると20個中茶色のさなぎは2個，ザラザラの板を入れると茶色のさなぎは11個になる。暗い部屋でツルツルの板を入れると20個中茶色のさなぎは16個，ザラザラの板を入れると茶色のさなぎは17個になる。このため，ザラザラの板を入れ，暗くした方が良い

桜修館中等教育学校_解説.indd　2　　25/12/22　15:57

と考えられる。

〔問題3〕〔春や夏に見られるさなぎと秋の終わりに見られるさなぎのちがい〕

春や夏に見られるさなぎは1～2週間で成虫になるが，秋の終わりに見られるさなぎは，あたたかい部屋に置いても成虫になるまでに36～90日かかる。

「5℃で冷やす日数が長くなるほど」成虫になる日がそろいやすい。

○推定配点○

1 〔問題1〕⑴ 10点 ⑵②・③・④・⑤ 各15点×4 〔問題2〕 60点(完答)

〔問題3〕⑴・⑵ 各35点×2

2 〔問題1〕 同じ理由で行ったこと 10点 根きょになる点 各15点×2

〔問題2〕 40点(完答) 〔問題3〕 70点

3 〔問題1〕 各15点×2(各完答) 〔問題2〕 記号 各10点×2 理由 50点

〔問題3〕 各25点×2 計 500点

＜適性検査Ⅱ解説＞

重要 1 （算数：平面図形，割合の計算，規則性をつかむ）

〔問題1〕⑴ 半円の部分の曲線の長さは，$4\times2\times3.14\times\frac{1}{2}$で求められる。答えは，小数第二位を四捨五入して小数第一位までの数で求めることに注意する。

⑵ ② 縮尺は，多目的室の横の長さ35.1mが，案内図では(1091－58×2)＝975mmになっているので，単位をそろえて計算する。35.1m＝35100mmなので，$\frac{975}{35100}=\frac{1}{36}$ ③ 多目的室のたての長さ23.4mを②にもとづいて縮小すると，23400÷36＝650mm。案内図をかく紙のたての長さは788mmなので，上の端と下の端の長さは，(788－650)÷2＝69mm＝6.9cm。 ④・⑤ 図1とは方位が上下と左右が逆になっていることに注意する。

〔問題2〕 設問文の前のさくらさんの言葉から，花だんの図で，右に5ます，奥に6ます進めることができるはん囲を先に決める。すると，左下の横「38～40」，たて「40～60」の20ますにしぼられる。この中から1つずつ条件に合うますを探していく。あてはまるのは，52，53，58，59である。

〔問題3〕⑴ 1分あたりに増えるお客さんは，20秒ごとに一人ずつ新しくお客さんが来るので，$1\div\frac{20}{60}$。10分間で新しく来たお客さんの人数は，$\left(1\div\frac{20}{60}\right)\times10$，受付が始まる前には60人いたので，$60+\left(1\div\frac{20}{60}\right)\times10=90$となる。2年前を選んだ場合も同じように考える。

⑵ まず，1人の受付にかかる時間を求める。⑴より，三人の受付係で10分間90人の受付を終えているので，一人の受付係は90÷3＝30人のお客さんを受付した。それが10分間かかっているので，一人の受付にかかる時間は，$10\div30=\frac{1}{3}$分。

受付係が四人のときは，受付が始まる前には60人いたので，1つの受付では15人受付することになる。受付にかかる時間は，$15\times\frac{1}{3}=5$(分)…①である。この5分の間に$\left(1\div\frac{20}{60}\right)\times5=$15(人)並ぶので，1つの受付では多くて4人を受付することになる。この間にかかる時間は$4\times\frac{1}{3}=\frac{4}{3}$(分)…② さらに，この$\frac{4}{3}$分の間に，$\left(1\div\frac{20}{60}\right)\times\frac{4}{3}=4$(人)並ぶので，1つの受付では1人受付することになる。かかる時間は，20秒…③ また，この間に一人並ぶが，受付

桜修館中等教育学校_解説.indd 3 25/12/22 15:57